

# 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市天寿園		
管理者名	公益財団法人 新潟市開発公社	指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日
新潟市主管課	中央区役所建設課		
所在地	中央区清五郎633-8		
根拠法令			
設置条例	新潟市天寿園条例		
施設概要	敷地面積 15,894 m <sup>2</sup> 建物面積 3,144 m <sup>2</sup> 主な施設 中国庭園・日本庭園, 休憩所, 大広間, 茶室, ホール		

施設設置目的
<p>天寿園は、悠久の歴史と伝統にはぐくまれた華やかな中国庭園と四季折々に風情のある日本庭園があり、市民が憩い、集い、文化の交流の場となることを目的としている。</p>
管理・運営に関する基本理念、方針等
<p>(1)新潟市天寿園条例（以下「条例」という。）に基づき、市民が憩い、集い、文化の交流を図り市民生活の向上に寄与する管理運営を行うこと。  (2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、住民サービスの向上や平等利用が確保すること。  (3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。  (4)利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。  (5)新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。  (6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。  (7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。  (8)指定管理者制度を理解し、実践すること。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	提供サービスの情報発信	市報等を活用した情報発信	ホームページにイベントの情報を掲載 市報にいがたに毎月定期コンサートの内容を掲載 随時各イベントの情報を掲載	B	目標を達成した
	施設利用度	年間利用者数 84,000人	86,813人	B	目標を達成した
	自主事業の実施	設置目的に合致した自主事業を年15回実施	定期コンサート 12回 産後ママのためのヨガ 2回 ばら教室 3回 大広間コンサート 1回 等	B	目標を達成した
	自主事業の年間利用者	自主事業実施による年間利用者数 9,500人	9,095人	C	更なる周知により利用者の増加を図る必要がある
財 務	利用者1人あたりのコスト削減額	利用者1人あたりのコストを550円以下	566円	B	目標を達成した
	本市の収入	年間使用料を285万円以上	3,584,875円	C	更なる周知により使用料収入の増加を図る必要がある
業 務	事件・事故発生時の対応の適切さ	人身事故 補償を伴う事故発生件数0件	人身事故 補償を伴う事故発生件数 0	B	目標を達成した
	指定管理者制度の理解	指定管理者に関する研修受講者数 年1人1回以上	危険物取扱者保安講習 1名受講	B	目標を達成した
	業務仕様書等に定める事項・指標の遵守	その他業務仕様書等に定める事項・指標の遵守	業務仕様書に定める基準に基づき、施設管理業務を実施	B	目標を達成した
人 材	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	各種研修の実施件数 年4回以上 実務研修受講者数 年1人1回以上	緑化技術研修会実施 主査研修実施 ネットワークシステム研修実施 ハラメント対応研修 1名受講	B	目標を達成した

**【評価基準】**

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

**指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)**

- ・ 新潟市の数値目標のうち、自主事業の年間利用者数と利用者1人あたりのコスト以外は達成することができた。次年度は全項目で達成できるよう努めたい。
- ・ 自主事業の年間利用者数については、新たな自主事業を開催するなど更なる施設の周知に努めたい。

**所 管 課 に よ る 総 合 評 価 ( 所 見 )**

施設の管理運営は業務基準等に基づき適正に実施され、施設の維持と利用者へのサービスに努めており、良好と評価できる。また施設の維持管理や職員の研修受講、自主事業の実施等についても、協定書や事業計画書に基づき、適正に実施されており、良好と評価できる。  
しかしながら、使用料収入と自主事業による利用者については、評価指標を達成できなかったため、今後はホームページ等による積極的な情報発信や自主事業の開催等により、施設自体の更なる周知、知名度向上を図り、使用料収入の増加、評価指標達成に向けたより一層の取り組みを期待する。